

# インドネシア国船舶航行安全 システム開発整備計画調査 事前調査報告書

平成 12 年 12 月

国際協力事業団

## 序 文

日本国政府はインドネシア共和国政府の要請に基づき、同国の港湾開発計画にかかる調査を実施することを決定し、国際協力事業団がこの調査を実施することと致しました。

当事業団では本格調査に先立ち、本件調査を円滑かつ効果的に進めるため、平成12年11月2日から同年11月19日までの19日間(うち、官団員11月2日～11月14日)にわたり、海上保安庁灯台部工務課長 池田保氏を団長とする事前調査団(S/W協議)を現地に派遣しました。

調査団は本件の背景を確認するとともにインドネシア共和国政府の意向を聴取し、かつ現地踏査の結果を踏まえ、本格調査に関するS/Wに署名しました。

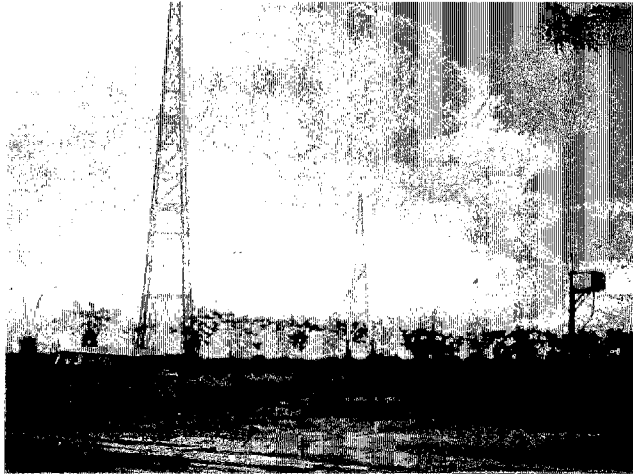
本報告書は、今回の調査を取りまとめるとともに、引き続き実施を予定している本格調査に資するためのものです。

終わりに、調査にご協力とご支援を頂いた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

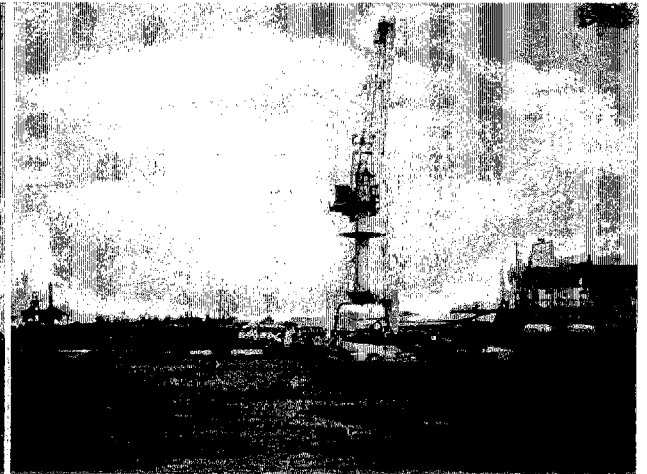
平成12年12月

国際協力事業団

理事 泉 堅 二 郎



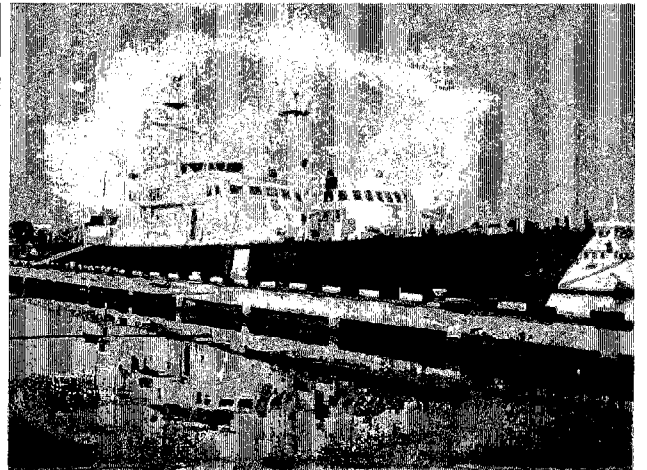
無線施設 (Tanjung Priok)



航路標識 (Tanjung Priok)



無線施設 (Tanjung Priok)



巡視船 (Tanjung Priok)



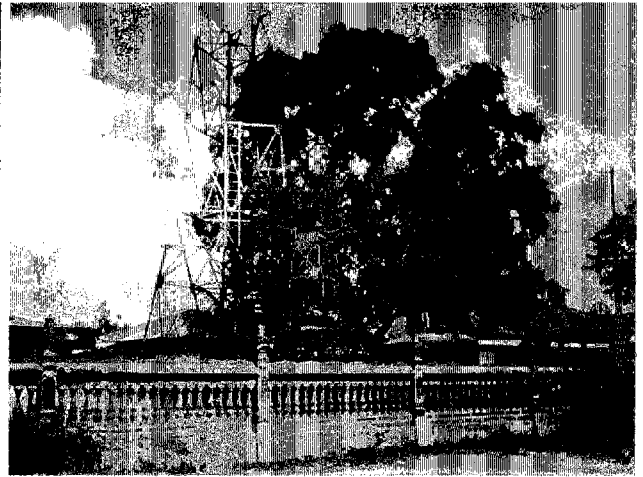
会議 (MOC)



会議 (ARMADA)



無線施設 (Benoa 無線局)



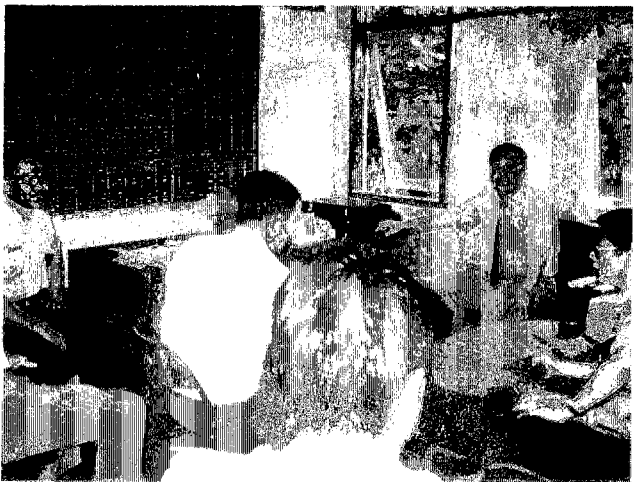
無線施設 (Benoa 無線局)



MF ビーコン施設 (Benoa 無線局)



会議 (Benoa 無線局)

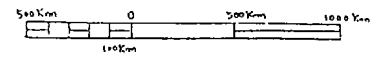
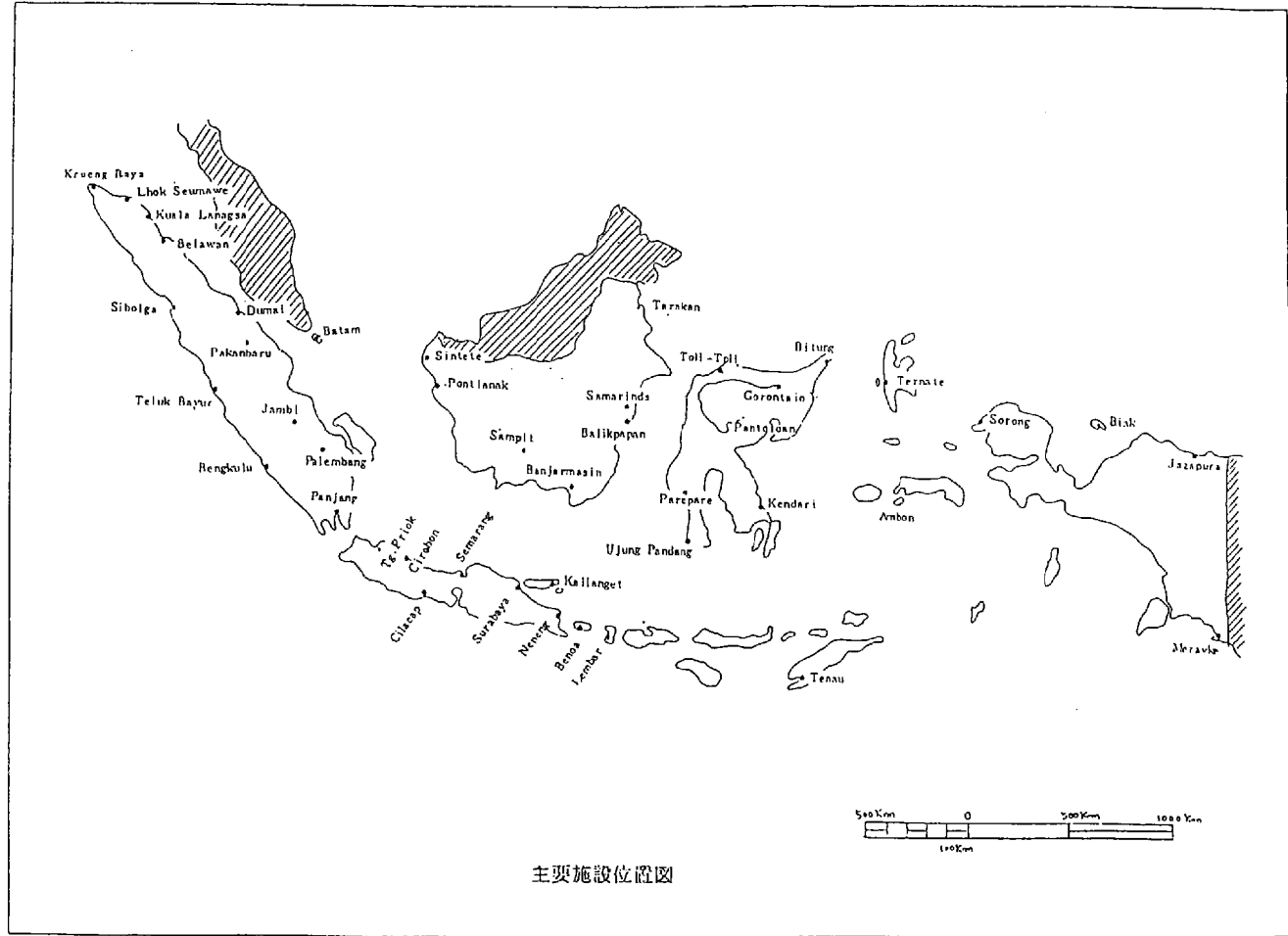


会議 (Benoa 港事務所)



S/W、M/M 調印式 (MOC)

調査対象プロジェクト位置図



主要施設位置図

# 目 次

序 文  
写 真  
地 図

第 1 章 事前調査の概要 .....	1
1 - 1 要請の背景 .....	1
1 - 2 調査団の構成 .....	1
1 - 3 事前調査の目的 .....	1
1 - 4 調査行程 .....	2
1 - 5 カウンターパート機関 .....	2
1 - 6 協議概要及び合意事項 .....	3
第 2 章 インドネシア国の概要 .....	5
2 - 1 インドネシアの概要 .....	5
2 - 2 インドネシアの気候と風土 .....	7
第 3 章 航行援助施設の現状と課題 .....	9
3 - 1 航路標識整備の背景 .....	9
3 - 2 航路標識の現状 .....	10
3 - 3 航路標識事務所の保有船艇( 2000 年現在 ) .....	11
3 - 4 航路標識整備計画 .....	11
3 - 5 組織図 .....	11
3 - 6 航路標識事務所位置図及び所轄図 .....	12
3 - 7 マスタープランの中長期及び短期整備計画 .....	12
3 - 8 保守運用計画 .....	12
3 - 9 職員の研修・訓練 .....	12
第 4 章 海上無線通信に関する現状と課題 .....	18
4 - 1 組 織 .....	18
4 - 2 沿岸無線局の業務 .....	18
4 - 3 沿岸無線局の施設、設備 .....	18

4 - 4	整備状況	19
4 - 5	課題	19
第5章 自然条件と環境		22
5 - 1	自然条件	22
5 - 2	環境予備調査	27
第6章 調査の基本方針		35
6 - 1	調査実施上のポイント	35
6 - 2	本格調査団の構成案	35
付属資料		
1	S / W、M / M、T / R	39
2	主要面談者リスト、Q / N	58
3	収集資料リスト	68
4	ローカルコンサルタントリスト	74
5	協議記録	75